



第7回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会

会 議 次 第

日時：令和6年11月1日（金）13:30～16:00

場所：高知共済会館 3階大ホール「桜」

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

（1）本年度の取組状況について（資料1、2）

（2）作業部会の取組状況について（資料3、4、5）

4 閉 会

第7回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会出席者名簿

日 時:

令和6年11月1日(金)13:30～16:00

高知共済会館 3階大ホール「桜」

委員

所属	職名	氏名	備考
高知大学 次世代地域創造センター	准教授	岡村 健志	
南国生活技術研究所	代表	黒笹 慈幾	
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所	主任研究員	坪井 潤一	
薬膳・和食文化研究家	研究家	百田 美知	
高知県観光コンベンション協会	専務理事	鍵山 匡彦	欠席
高知県旅館ホテル生活衛生同業組合	代表理事	藤本 正孝	
鮎屋仁淀川	代表	西脇 亜紀	
道の駅よって西土佐	駅長	林 大介	欠席
高知県水産物加工販売組合	会長	西内 正	
高知県内水面漁業協同組合連合会	代表理事	吉村 正男	
高知県内水面漁業協同組合連合会	理事	門田 寛三	

国関係部局

所属	職名	氏名	備考
高知河川国道事務所	事業対策官	宮地 憲一	
中村河川国道事務所 計画課	課長	新谷 大吾	

県関係部局

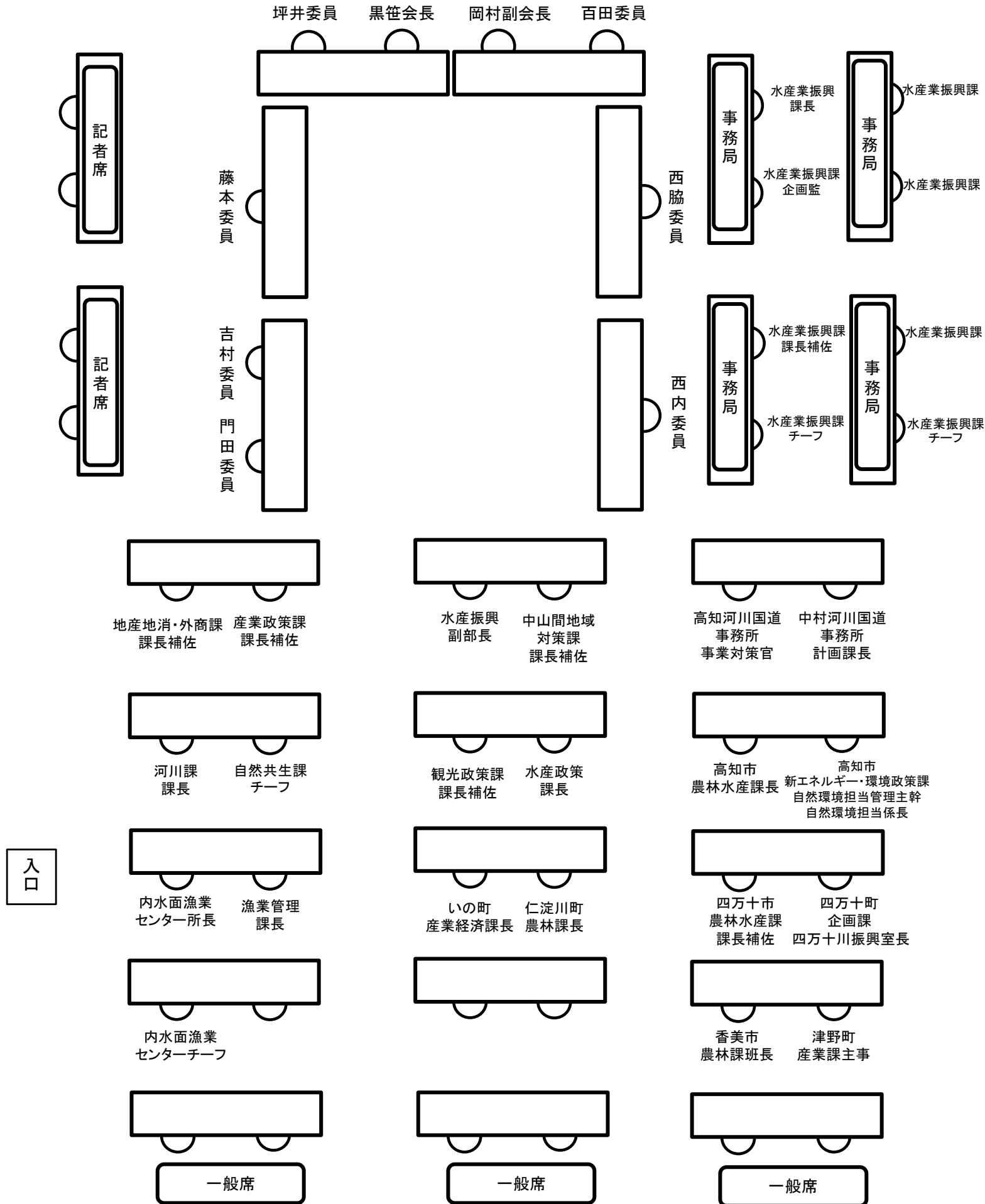
所属	職名	氏名	備考
水産振興部	副部長	西山 勝	
水産政策課	課長	西山 直文	
漁業管理課	課長	浜渦 敬三	
内水面漁業センター	所長	山本 順	
内水面漁業センター	チーフ	林 芳弘	
中山間地域対策課	課長補佐	西岡 洋平	
産業政策課	課長補佐	岡宗 秀明	
地産地消・外商課	課長補佐	岡内 諭	
観光政策課	課長補佐	竹崎 大輔	
自然共生課	チーフ(四万十川・清流担当)	與名 良	
河川課	課長	山本 治良	
水産業振興課	課長	津野 健太朗	事務局
	企画監兼水産物外商室長	山崎 竜二	事務局
	課長補佐	井上 久美賀	事務局
	チーフ(加工・輸出振興担当)	青野 怜史	事務局
	チーフ(内水面振興担当)	稲葉 太郎	事務局
	主幹	窪 敦大	事務局
	主幹	竹内 壮志	事務局
	主査	濱町 諒介	事務局

市町村関係部局

所属	職名	氏名	備考
高知市 農林水産課	課長	伊勢谷 麻香	
高知市 新エネルギー・環境政策課	自然環境担当管理主幹自然環境担当係長	山中 晶一	
四万十市 農林水産課	課長補佐	岡田 圭一	
香美市 農林課	班長	新谷 長男	
いの町 産業経済課	課長	尾崎 賢二	
仁淀川町 農林課	課長	田代 秀喜	
津野町 産業課	主事	谷脇 吉貴	
四万十町 企画課 四万十川振興室	室長	津野 史司	

第7回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会 配席図

令和6年11月1日（金）13:30～16:00
（高知共済会館 3階大ホール「桜」）



あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

資料1

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	観光	①あゆを活用した旅行商品提供のための仕組みづくり	◎宿泊・観光事業者と連携したあゆ漁(友釣り、火振り漁、しゃぐり漁、投網漁等)体験の旅行商品化及び他の河川アクティビティ(SUP等)との連携による体験メニューの拡充	1	火振り漁見学のメニュー化 体験型観光の拡大を目指して、観光業界と漁協の連携を強化	※四万十市 四万十市観光協会 (遊覧船組合) 四万十川中央漁協		遊覧船等観光業界への働きかけ、調整			火振り漁見学のメニュー化 ↓ ↓ ↓ メニュー化1件
						(実績) ・メニュー化に向け、地域ごとに検討、調整中	検討、調整中					
					2	体験メニューの商品造成及び実施 自然体験メニューの造成と実施	※四万十町 委託事業者		イベントの開催に向けた調整		イベント等の開催	体験イベントの実施 2回 ↓ 2回 ↓ 2回
						(実績) ・受託事業者との契約締結(6/1)	・日野地川川下りイベントの開催(7/27)	・四万十川サバイバルイベント実施予定(10/12)				
					3	友釣り体験等の実施 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等に向けた調整・実施	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連合会、四万十川上流淡水漁業協同組合 他		イベントの開催に向けた調整		イベント等の開催	体験イベントの実施 2回 ↓ 1回 ↓ 2回
						(実績)	・高校生友釣り体験授業の実施(9/24)					
				◎キャンプ場であゆ漁体験及びあゆバーベキューができる仕組みづくり	4	キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供				体験メニューの商品化 1回 ↓ ↓ 1件以上
						(実績) あゆ提供件匹数 56匹						
					5	観光等複合拠点へのあゆの提供 モンベルアウトドアビレッジ本山のハーベストテラスのバーベキューの食材としてあゆを提供	※嶺北漁協	ハーベストテラスでのあゆの提供				あゆの出荷数 80匹 ↓ ↓ 200匹
					出荷準備(解禁まで)	あゆ出荷(6～10月)	来年度のあゆの確保に向けた関係者との協議					
				友釣り体験等の実施 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等に向けた調整・実施(再掲)	6	友釣り体験、四万十川友釣りイベント等に向けた調整・実施(再掲)	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連合会、四万十川上流淡水漁業協同組合 他	開催に向けた調整	友釣りイベント開催(漁期期間中)		次年度の開催に向けた検討	友釣り教室の開催回数 6回(イベント中止) ↓ 1回 ↓ 年2回以上の開催
								(実績)	・高校生友釣り体験授業の実施(9/24)			
				友釣り体験の実施 大人向け、子ども向けの友釣り体験に向けた調整・実施	7	友釣り体験の実施 大人向け、子ども向けの友釣り体験に向けた調整・実施	※奈半利川淡水漁協	開催に向けた調整	友釣りイベント開催(漁期期間中)		次年度の開催に向けた検討	友釣り体験参加人数 大人0名 子ども0名 ↓ 大人3人 子ども31人 ↓ 大人10人 子ども10人
								(実績)	・北川中学校生徒6名、北川小学校児童12名、奈半利中学校生徒13名を対象に友釣り体験を実施(教員3名)			

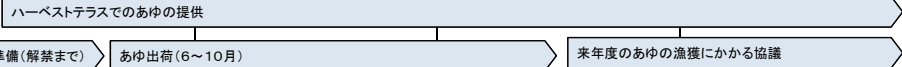
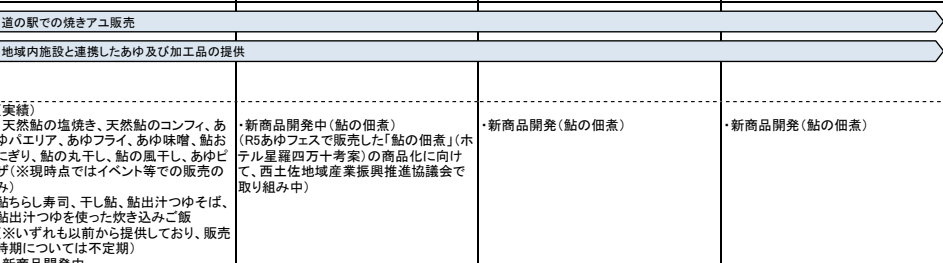
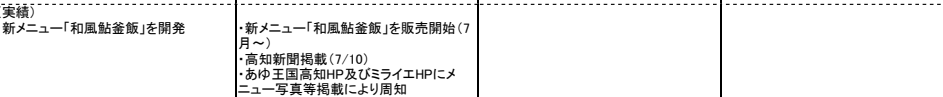
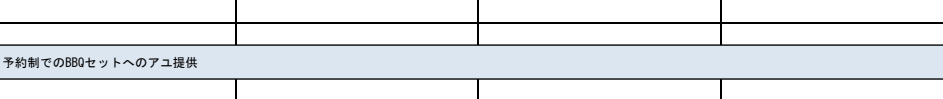
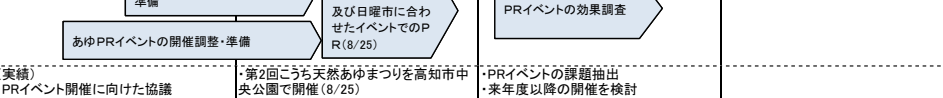
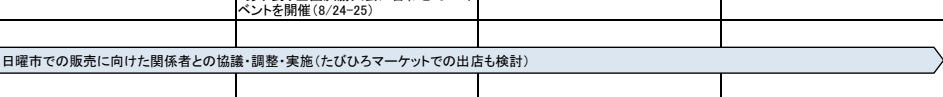
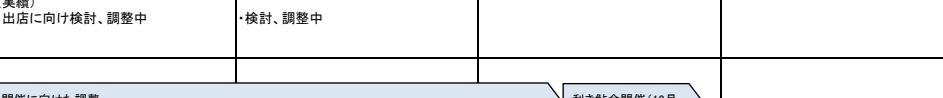
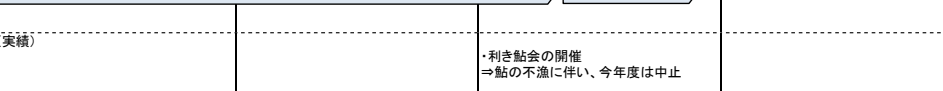
あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

資料1

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
				◎あゆ漁インストラクターや環境学習ガイダンスを担う人材の育成	8	あゆ漁インストラクターの育成 インストラクターの育成に向けた協議	※協議会 高知県友釣り連盟	取り組み内容について協議会委員と協				インストラクターの派遣 ↓ 0名 ↓ 1名以上	
						インストラクター育成の要望確認	友釣り連盟等による講師派遣の検討						
						(実績) ・7月と8月に1回ずつアユインストラクターを派遣予定だったが、増水により中止							
				◇駐車場や入川道等の整備	9	入川道の整備 魚道整備や草刈等の維持管理の管轄漁協への委託	※四万十町 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	入川道の維持管理				入川道の維持管理の実施 12箇所 ↓ ↓ 12箇所以上	
						(実績) ・漁協との維持管理契約(4/1)							
				③観光キャンペーンへのあゆの活用	10	◎県の観光キャンペーンと連携したあゆを活用した自然・体験型観光商品や飲食店情報の発信	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ漁体験などを含む自然・体験型観光商品等を発信(4月～)				No.2、3、6の目標と同じ	
				(実績) ・高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ釣り体験2件、火振り漁2件、川漁師体験1件掲載 ・キャンペーン公式ガイドブック(Vol1)及び特設サイト内で「あゆ王国高知」QRコードを掲載し情報発信	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ釣り体験2件、火振り漁2件、川漁師体験1件掲載(再掲) ・キャンペーン公式ガイドブック(Vol1)及び特設サイト内で「あゆ王国高知」QRコードを掲載し情報発信(再掲)	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ釣り体験2件、火振り漁2件、川漁師体験1件掲載(再掲) ・キャンペーン公式ガイドブック(Vol2)及び特設サイト内で「あゆ王国高知」QRコードを掲載し情報発信(再掲)	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ釣り体験2件、火振り漁2件、川漁師体験1件掲載(再掲)※予定 ・キャンペーン公式ガイドブック(Vol2)及び特設サイト内で「あゆ王国高知」QRコードを掲載し情報発信(再掲)						
				◎都市圏などで開催される観光イベントでのあゆのPR	11	あゆを含む高知の食のPR ・あゆを含む高知の食のPRによる誘客 ・マスコミや旅行会社に向けてあゆを含む高知の食をPR	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	【東京・大阪・広島・福岡】旅行会社への観光説明会であゆを含む高知の食をPR(4～5月)	【東京・大阪・名古屋】旅行会社への観光説明会であゆを含む高知の食をPR(9～10月)	首都圏メディアと情報交換会であゆを含む高知の食をPR	観光説明会・メディア情報交換会でのPR 19件 ↓ 33件(想定) ↓ 30件 ※令和4年度夏からの累計		
						首都圏メディアと情報交換会であゆを含む高知の食をPR(9月)		首都圏メディアとの情報交換会であゆを含む高知の食をPR					
					(実績) ・東京(4/16)、広島(5/15)、大阪(5/20)、福岡(5/30)の旅行会社にあゆを含む体験型商品や高知の食文化をPR	・東京(7/1、9/3)、大阪(7/2、9/11)の旅行会社にあゆを含む体験型商品や高知の食文化をPR ・ツーリズムEXPOでの商談旅行会社に貼を含む体験型商品や高知の食文化をPR	・首都圏を中心に放送している「ロンパール」の釣りならまかせろ！(テレビ埼玉制作)」を誘致し、仁淀川であゆの友釣り企画を放送(10月中旬頃) ・東京(10/3)、大阪(10/9)、名古屋(10/17)の旅行会社」に貼を含む体験型商品や高知の食文化をPR	首都圏メディアとの情報交換会であゆを含む高知の食をPR※予定					
				食	①県内の飲食店等であゆを食べてもらう機会づくり	◎あゆを提供している飲食店情報の発信	あゆ提供飲食店の情報発信 あゆが食べられる飲食店等の情報収集・あゆ王国HPでの情報発信	※水産業振興課 県内飲食店	企画提案(プロボ)				県内飲食店の掲載数 86店舗 ↓ 86店舗 ↓ 86店舗
							あゆが食べられる飲食店等情報のHPでの情報収集・情報発信						
						(実績) ・あゆ王国高知のHPにて情報発信	・あゆ王国高知のHPにて情報発信	・あゆ王国高知のHPにて情報発信	・あゆ王国高知のHPにて情報発信				
						あゆHPへのあゆ提供飲食店の掲載 あゆ＆うなぎMAP(R5作成済)の情報発信	※四万十町 町内飲食店					町内飲食店の掲載数 14店舗 ↓ ↓ 14箇所以上	
								HP等での飲食店情報の発信					
				(実績) あゆ＆うなぎMAPの店舗配布・町HPの更新									

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

資料1

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は連携管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
				◎キャンプ場やアクティビティ施設等と連携した観光客へのあゆの提供	14	観光等複合拠点へのあゆの提供 モンベルアウトドアビレッジ本山のハーベストテラスのハーベキューの食材としてあゆを提供(再掲)	※嶺北漁協					あゆの出荷数 80匹 ↓ 200匹
				◎キャンプ場やアクティビティ施設等と連携した観光客へのあゆの提供	15	あゆ及び加工品の販売 道の駅で常時天然あゆの塩焼きを提供するとともに、ハーベキューの食材として地域内のアクティビティ施設と連携してあゆ及び加工品を提供	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐					新商品の開発件数 0件 ↓ 1件(予定) ↓ 1件
				16	施設地区来訪者への高知県産鮎料理の提供 に淀川屋形船が漁獲した鮎を能津集落活動センターミライエが能津地区を訪れた観光客へ提供する	※能津集落活動センターミライエ 屋形船に淀川					鮎料理提供数 1,688食 ↓ 1,944食(予定) ↓ 1,940食	
												
												
				17	キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施(再掲)	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場					体験メニューの商品化 1回 ↓ 1 ↓ 1件以上	
												
				18	◎県内主要観光施設や道の駅、イベント等でのあゆの販売	PRイベントの開催 あゆ釣り全国決勝大会及び日曜市に合わせたあゆPRイベントの開催	※水産振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会					PRイベントの実施 1回 ↓ 2回 ↓ 2回
												
												
19	日曜市でのあゆの販売 県内各河川が連携し、高知市の日曜市に出店することで、県民及び県外観光客にあゆを安定的に供給できる体制を整備	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐 四万十川漁業振興協議会					日曜市でのあゆの販売 日曜市に隣接した会場での販売 ↓ 販売の実現					
20		利き鮎会及び食味会の開催 四万十川の各地(本流、目黒川、黒幕川、藤ノ川川等)でとれる鮎を比べ、味の違いの体感や、美味しさを競い合う	※四万十市 四万十川漁連 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐					利き鮎会及び食味会の開催 1回開催 ↓ 2回開催				

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

資料1

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	実績値(R7.3末時点)
				◎県内主要観光施設や道の駅、イベント等でのあゆの販売	21	各種イベント等でのあゆの塩焼きの販売	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	各種イベント等での天然アユ販売				イベントへの出店回数 9回 ↓ 6回(予定) ↓ 10回
					22	あゆフェスの開催 西土佐地域に古くから伝わるあゆ料理や新しく考案されたあゆ料理を提供	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	あゆフェス開催				あゆフェスの開催 第1回開催 ↓ 第2回開催 ↓ 第2回開催
					23	漁協によるイベントへの出展 四万十川上流淡水漁協によるイベント出店	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	高知市中央公園等で行われる食のイベントへの出展(豊稷祭、ふるさとまつり、土佐のおきやく 等)		豊稷祭、ふるさとまつり	土佐のおきやく	イベントの開催回数 3回 ↓ 2回 ↓ 3回以上
				◎食育授業でのあゆの活用	24	学校給食へアユ提供 四万十町内の小中学校・高校の給食へのあゆの提供	※四万十町 町内小・中学校、高校 給食センター	町内小中学校・高校の給食へのあゆ提供				給食でのあゆの活用 町内各学校で1回以上 ↓ 4回 ↓ 1回以上
					25	食育授業でのあゆの提供 食育授業の食材にあゆを活用し、県内小学校等の児童及び保護者に対して、関心喚起につながる学習と調理実習・試食を実施	※水産業振興課 学校給食会 漁協	学校給食会との協議 小学校等での食育授業の実施(6月～12月)				食育授業でのあゆの活用 2回(生徒:54名) ↓ 1回 ↓ 1回以上
	食	①県内の飲食店等であゆを食べてもらう機会づくり		◎食育授業でのあゆの活用	26	食育授業を通じたあゆの学習 市内小学校の児童が落ちあゆ漁の見学やあゆの産卵等について学習した後、保護者と一緒にあゆを活用した調理実習・試食を実施	※四万十市 四万十川中央漁協 給食センター	関係者との協議		あゆや川に関する現地学習、見学及び調理実習の実施(11～12月)		食育授業でのあゆの活用 1回 ↓ 2回 ↓ 1回
										中央漁協が講師となり、四万十川であゆや卵を実際に見ながら学習(11月) ・落ちあゆ漁の見学(12月上旬) ※今年度は調理実習は実施しない		

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

資料1

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
		②県外の飲食店等で高知のあゆを食べてもらう機会づくり		◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの販売促進	27	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施	※水産業振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、	高知フェア(全国350店舗)の開催(9～2月)		フェアであゆを提供する飲食店数 1店舗 ↓ 1店舗 ↓ 3店舗	
					28	県外での販売促進 町地産外商室を通じた県外でのあゆの販売流通促進	※四万十町					商談会への参加 5回 ↓ ― ↓ 1回以上	
					29	「高知家の魚応援の店」への外賣活動 全国の「応援の店」に対して、きめ細やかな営業活動やオンラインを活用した商談機会の提供を通じて、あゆの販路開拓・販売拡大を実施	※水産業振興課 地産外商公社	「高知家の魚応援の店」への営業活動の実施	県内参画事業者の情報収集	産地見学会(2回・36店舗)の実施	県産水産物試食商談会の実施	あゆを扱う県内参画事業者の商談会等への参加 2回 ↓ 3回 ↓ 3回	
					30	四万十川のあゆの販売拡大 ・「高知家の魚応援の店」と連携した天然あゆの提供 ・豊洲市場への活あゆ等の直送	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	実店舗での天然アユ提供	豊洲市場への活アユ等出荷			豊洲市場へのあゆ出荷量 307.7kg ↓ 28.7kg ↓ R5同程度の量を出荷	
					31	あゆのプロモーション ・年間を通じた情報発信(5、7-8、1月) ・2階レストランでメディア等を集めたあゆと土佐酒の試食会を開催、情報拡散を図る(5月)	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産業振興課	あゆの解禁にあわせてメディアを集めた試食会開催(5月)@高知と連携	利きあゆ会に向けた情報発信(7、8月)		あゆの加工品PR(1月)	情報発信 3回 ↓ ― ↓ 3回	
					32	あゆフェアの開催 ①レストランであゆと土佐酒の提供 ②物販であゆ関連商品の販売	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産業振興課	企画立案・調整	①レストランであゆの提供 ②あゆフェア(加工品)			店舗プロモーション活動 1回 ↓ ― ↓ 1回	
				33	③調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進	◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	◎宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 ホテル奈半利をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したメニューの提供を開始	※奈半利川淡水漁協 ホテル奈半利	あゆの提供について協議	あゆ料理の提供開始	来年度に向けた改善の検討	新たな出荷先の開拓	宿泊施設等へのあゆの提供尾数 150尾 ↓ 750尾 ↓ 850尾

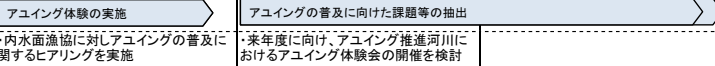
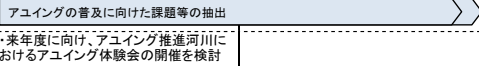
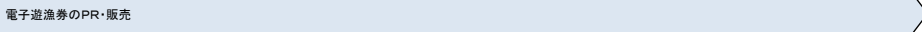
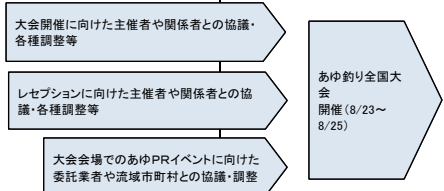
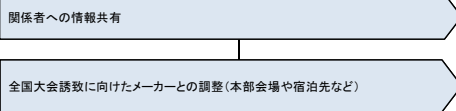
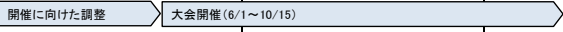
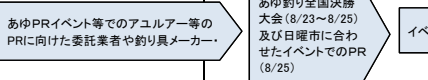
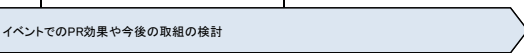
あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

資料1

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
				◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	34	宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 馬路温泉をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したプランやメニューを開発し、利用客に提供	※馬路村 (一社)馬路温泉運営協会	プラン・メニューについて協議 開発したプラン・メニューの提供 利用者の意見等を取り入れながら、プラン・メニューの改善	シーズンの振り返りと来期に向けての改善		馬路温泉あゆ活用プランの宿泊者数 (アフルコース) 142名 ↓ 150名(見込み) ↓ 160名	
	釣り	①子どもたちがあゆに親しむことができる機会づくり	◎子ども向け釣り教室等の開催	◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	35	子供が楽しめる体験メニューの提供 しゃくり漁、投網漁、つかみ取り等、子供が楽しみながらあゆに親しめる体験メニューの提供	※四万十市 四万十川中央漁協 四万十川西部漁協 四万十川漁業振興協議会	しゃくり漁体験、投網漁体験、つかみ取り体験を実施(7～9月)	しゃくり漁体験(7/7) 親子川漁体験(7/27) つかみ取り体験(9/5) 投網漁体験(9/20)		体験メニューの提供 3件 ↓ 3件 ↓ 3件	
				◎幼稚園等でのあゆのつかみ取り体験等の実施	36	あゆのつかみ取りの実施 幼稚園児等を対象としたあゆのつかみ取りの実施	※奈半利川淡水漁協	幼稚園単位での開催に向けた調整	あゆのつかみ取り体験の開催(3～4回程度)		参加児童数 3回242名 ↓ 3回168名 ↓ 3回240名	
					37	あゆのつかみ取りの実施 あゆまつりでのあゆのつかみ取り(小学生以下)の実施	※四万十町 アユまつり実行委員会	あゆまつりの開催に向けた調整・協議	あゆまつり開催		つかみ取り実施回数 年1回の開催 ↓ ↓ 年1回の開催	
		②遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎あゆ漁インストラクターの育成	◎幼稚園等でのあゆのつかみ取り体験等の実施	38	あゆ漁インストラクターの育成 インストラクターの育成に向けた協議(再掲)	※協議会 高知県友釣り連盟	取り組み内容について協議会委員と協議 インストラクター育成の要望確認	友釣り連盟等による講師派遣の検討		インストラクターの派遣 ↓ 0名 ↓ 1名以上	
	釣り	②遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎若い世代をターゲットとした簡易な服装や道具で友釣りができるライトスタイルの提案及び広報	◎あゆ漁インストラクターの育成	39	ライトスタイルの提案及び広報 釣具屋、関係団体と連携したライトスタイルの提案及び広報	※協議会 水産業振興課	あゆPRイベント等でのアユルアー等のPRに向けた委託業者や釣り具メーカー あゆ釣り全国決勝大会(8/23～8/25)及び日曜市に合わせたイベントでのPR(8/25) アユイング体験の実施	アユイングの普及に向けた課題等の抽出		イベント等でのPR 1回 ↓ 1回 ↓ 3回	
								(実績)	第2回こうち天然あゆまつりにてアユルアー等を展示 内水面漁協に対しアユイングに関するヒアリングを実施	来年度に向け、アユイング推進河川におけるアユイング体験会の開催を検討		

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

資料1

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
				◎あゆのルアー釣り(アユイング)の普及に向けた実態調査及び関係者での協議	40	高知黒河川におけるアユイングの普及 アユイングに適した河川を選出し、内水面漁協にアユイングに対する理解を得たうえで、県下でのアユイング普及活動を実施	※水産業振興課協議会(資源・環境保全部会)					アユイング普及河川数 0 ↓ 0 ↓ 3
				◎電子遊漁券の導入拡大や共通遊漁券の設定	41	漁協による電子遊漁券の利用拡大(四万十川上流淡水漁協)	※四万十川上流淡水漁業協同組合 四万十町					遊漁券の利用枚数 4枚 ↓ 16枚 ↓ 20枚
				◎釣り具メーカー等と連携したあゆ釣り大会の開催	42	あゆ釣り全国大会の開催 ・高知県釣り連盟と連携した釣り具メーカー主催のあゆ釣り全国大会の誘致	※仁淀川漁協 高知県釣り連盟 水産業振興課 高知市土佐市いの町日高村佐川町越知町仁淀川町					大会の開催 0回 ↓ 1回 ↓ 1回
				◎あゆ釣り大会の開催	43	四万十川で釣ったあゆの大きさを競う大会を開催	※四万十市西土佐商工会青年部 四万十川西部漁協					大会の開催 第2回開催 ↓ 第3回開催 ↓ 第3回開催
				◎あゆ釣り大会の開催	44	あゆ釣りダービー及び1日大会の開催 ・1ヶ月間で釣ったあゆの大きさを競う大会を開催 ・1日で釣ったあゆの大きさを競う大会を開催	嶺北漁協					大会の開催 0回 ↓ ダービー1回 ↓ ダービー1回 ↓ 1日大会1回
				◎あゆ漁具の継承に向けたイベントの開催	45	釣り道具の継承 釣り文化や釣り道具の継承に向けた検討	※協議会 水産業振興課					イベント等での釣り具のPR 1回 ↓ 1回 ↓ 2回

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

資料1

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)		
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	体験メニューの商品化 1回 ↓ ― ↓ 1件以上		
				◎キャンプ場であゆ漁体験及びあゆバーベキューができる仕組みづくり(再掲)	46	キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施(再掲)	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供				体験メニューの商品化 1回 ↓ ― ↓ 1件以上		
								(実績) ・あゆ提供件匹数 56匹						
					47	友釣り体験等の実施 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等に向けた調整・実施(再掲)	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連合会、四万十川上流淡水漁業協同組合 他	開催に向けた調整	友釣りイベント開催(漁期期間中)		次年度の開催に向けた検討		友釣り教室の開催回数 6回(イベント中止) ↓ ― ↓ 年2回以上の開催	
								(実績)						
					48	友釣り体験の実施 大人向け、子ども向けの友釣り体験に向けた調整・実施(再掲)	奈半利川淡水漁協	開催に向けた調整	友釣りイベント開催(漁期期間中)		次年度の開催に向けた検討		友釣り体験参加人数 大人0名 子ども0名 ↓ 大人3名 子ども31名 ↓ 大人10名 子ども10名	
								(実績)						
								・北川中学校生徒6名、北川小学校児童12名、奈半利中学校生徒13名を対象に友釣り体験を実施(教員3名)						
	釣り	②遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎キャンプ場であゆ漁体験及びあゆバーベキューができる仕組みづくり(再掲)	49	川漁体験の実施 四万十川財団が開催する川漁大人塾への協力	※四万十町 四万十川財団	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁)		川漁体験としての大人塾開催への協力(あゆ漁8、9、10月)		結果の検証		あゆに関する大人塾開催回数 6回 ↓ 5回 ↓ 6回	
							(実績) ① 5/3、4 うなぎ漁 ② 6/29 エビ漁		③ 8/3 しやくり漁 ④ 9/7 アユ網投げ		⑤ 12/1 落ち鮎漁			
				50	◇あゆ釣り師養成講座の開講	友釣り体験等での講師依頼 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等での講師依頼	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連合会、四万十川上流淡水漁業協同組合 他	開催に向けた調整	講師依頼(漁期期間中)		次年度の開催に向けた検討		友釣り教室の開催回数 6回(イベント中止) ↓ 1回 ↓ 年2回以上の開催	
								(実績)						
								・高校生友釣り体験授業の実施(9/24)						
				51	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。	※高知市	事業の委託契約準備、契約(4月～6月)		鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(7月～2月)		業務報告等(3月)		関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 15,000回(見込み) ↓ 4,000回
								(実績) ・指名競争入札により、委託事業を選定(6/26) ・委託契約の締結(6/27)		(実績) 鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)		鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)(見込み) ・業務報告(3月)(見込み)		

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
				◇関係機関と漁協が連携した 各河川のあゆに関する情報発信	52	電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりの促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。 ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	※高知市					関係人口(鏡川流域の 自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 15,000回(見込み) ↓ 4,000回
					53	漁協及び関係市町で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協HPでのあゆ情報発信及び漁業振興協議会を活用した各調査結果等の情報発信	※四万十市 ※四万十町 ※四万十川漁業振興協議会 ※四万十川東部漁業協同組合					報告会・ホームページ 情報発信の実施 ↓ 報告会・ホームページ 情報発信の実施 ↓ 報告会・ホームページ 情報発信の実施

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
2	高知のあゆで 外貨を稼ぐ仕組 みづくり	加工・流通 販売	①県内各河川のあゆを 一元的、安定的に供給 するための流通体制の 構築	◎県内において集荷機能を有 する事業者などとの連携した 県産あゆの販売拡大	1	集出荷事業者との連携による国内 外への販売拡大 複数河川のあゆを集出荷できる県 内事業者と連携し、国内外への展 示会等への出展を通して販売拡大 に繋げる	※水産業振興課 地産地消・外商課 地産外商公社 協議会	販売拡大に向けた集出荷 事業者との協議	国内展示商談会への出展(8)	海外賞味会への出展(11月)	国内展示商談会への出展(2)	商談会等への出展 3回 ↓ 2回 ↓ 3回
				◇集出荷及び冷凍加工・保管 体制の構築	2	高品質な冷凍あゆ製品の開発 安定的な販売と魅力的な商品づく りに向けて急速凍結による高品質 な冷凍あゆ製品を開発	※協議会(流通販売部 会) 水産業振興課 地産地消・外商課 漁協	(実績) ・試験方法の検討	・第26回ジャパニアンインターナショナル シーフードショーにてあゆ王国高知の PRを実施(8/21-23)		・第22回シーフードショー大阪にてあゆ 王国高知のPRを実施(2/19-20予定)	高付加価値商品の開発 ↓ 0 ↓ 1商品
				◎各河川の集荷時における、 あゆの規格化	4	先進漁業事例を参考にした高知県の あゆの受け入れ・冷凍方法の検討 漁協や冷凍関連事業者との連携に より、本県に適した鮮魚の受け入 れや冷凍方法を検討する	※協議会(流通販売部 会) 水産業振興課 漁協	漁協や冷凍関連事業者にて現状の取り 扱いや課題等について聞き取り	あゆの受け入れや冷凍方法 の試行	本県に適したあゆの受け入れや冷凍方法の整理		新たな取り組みの創出 ↓ 0件 ↓ 1件
				◎河川ごとのあゆを販売出来 る体制の構築	5	県内事業者と連携した複数河川の あゆの販売 県内商社の役割を担う県内事業者 との連携により複数河川のあゆを 集出荷	※協議会(流通販売部 会) 水産業振興課 県内事業者	漁協や県内事業者の意向 を踏まえた協議	これまで実施していない河川 のあゆを集荷・試験販売	複数河川の冷凍あゆを集荷・販売		冷凍あゆの集出荷が可 能な漁協 3漁協 ↓ 0漁協 ↓ 4漁協
				◎あゆの販路開拓・拡 大のための取り組みの 実施	3	集出荷事業者の掘り起こし等による 取扱量の増加 漁業等と連携して新たな集出荷事 業者や持ち込み遊漁者の掘り起こ しに取り組むことで、安定的な販売 に繋げる	※協議会(流通販売部 会) 水産業振興課 漁協	集出荷事業者の掘り起こしに向けた漁 協への意向確認	集出荷試験の実施	集出荷体制の構築に向けた協議、持ち込み組合員等への広報		新たな集出荷体制の構 築 ↓ 1件 ↓ 1件
				◎各河川の集荷時における、 あゆの規格化	4	先進漁業事例を参考にした高知県の あゆの受け入れ・冷凍方法の検討 漁協や冷凍関連事業者との連携に より、本県に適した鮮魚の受け入 れや冷凍方法を検討する	※協議会(流通販売部 会) 水産業振興課 漁協	漁協や冷凍関連事業者にて現状の取り 扱いや課題等について聞き取り	あゆの受け入れや冷凍方法 の試行	本県に適したあゆの受け入れや冷凍方法の整理		新たな取り組みの創出 ↓ 0件 ↓ 1件
				◎河川ごとのあゆを販売出来 る体制の構築	5	県内事業者と連携した複数河川の あゆの販売 県内商社の役割を担う県内事業者 との連携により複数河川のあゆを 集出荷	※協議会(流通販売部 会) 水産業振興課 県内事業者	漁協や県内事業者の意向 を踏まえた協議	これまで実施していない河川 のあゆを集荷・試験販売	複数河川の冷凍あゆを集荷・販売		冷凍あゆの集出荷が可 能な漁協 3漁協 ↓ 0漁協 ↓ 4漁協
				◎河川ごとのあゆを販売出来 る体制の構築	6	豊洲市場への活あゆ出荷 豊洲市場への活アユ等の出荷を 継続	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅にて西土佐	豊洲市場への活アユ等出荷				豊洲市場へのあゆ出荷 量 307.7kg ↓ 28.7kg ↓ R5同程度の量を出荷

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
				◎県や地産外商社が主催・ 出展する商談会への参加に よる販路の確保及び拡大	7	商談会への参加による販路開拓・ 販売拡大 高知県(地産地消・外商課)、高知 県地産外商社主催の商談会に 参加して、販路開拓や販売拡大に つなげる ＜令和5年度＞ ○土佐の宴(大阪市):9月26日 ○県産品商談会(高知市):10月24 日 ○とさっておいしい食の商談会:3 月5日(東京都)	※地産地消・外商課 あゆ関連事業者 水産業振興課 地産外商社	○6月11日:関西版県産 品商談会(高知)	○9月25日:土佐の宴(大阪) ○9月26日:関西圏県別 個別商談会(京都/兵庫)	○11月7日:高知県産品 商談会(高知)	○2月26日:九州・中四国 得意先商談会(高知) ○3月14日:土佐っておい しい食の商談会(東京)	商談会開催回数 3回 ↓ ― ↓ 6回(予定)
				◎「高知家の魚応援の店」を 活用した高知のあゆの販売促 進(再掲)	8	「高知家の魚応援の店」での高知 フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」で高 知フェアでのメニュー提供や情報 発信を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商社	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、 フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国350店舗)の開催(9～2月)		フェアであゆを提供する 飲食店数 1店舗 ↓ 1店舗 ↓ 3店舗
					9	県外での販路促進 町地産外商室を通じた県外でのあ ゆの販売流通促進(再掲)	※四万十町	町地産外商室の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)				商談会への参加 4回 ↓ ― ↓ 1回以上
					10	「高知家の魚応援の店」への外販 活動 全国の「応援の店」に対して、きめ 細やかな営業活動やオンラインを 活用した商談機会の提供を通じ て、あゆの販路開拓・販売拡大を 実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商社	「高知家の魚応援の店」への営業活動の実施 県内参画事業者の情報収集 産地見学会(2回・36店舗)の実施 県産水産物試食商談会の実施				あゆを扱う県内参画 事業者の商談会等 への参加 2回 ↓ 3回 ↓ 3回
					11	四万十川のあゆの販売拡大 「高知家の魚応援の店」と連携し た天然あゆの提供 (豊洲市場への活あゆ等の直送 (再掲)	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	実店舗での天然アユ提供 豊洲市場への活アユ等出荷				豊洲市場へのあゆ出荷 量 307.7kg ↓ ― ↓ R5同程度の量を出荷
				◇酒造会社と連携したあゆと 土佐酒のセット販売	12	あゆフェアの開催 ①レストランであゆと土佐酒の提供 ②物販であゆ関連商品の販売 ①②を合わせて「高知あゆフェア」 と題して2週間程度開催する(再 掲)	※地産地消・外商課 地産外商社 水産業振興課	企画立案・調整	①②あゆフェア(加工品) 物販 関連商品販売	店舗プロモーション活動 1回 ↓ ― ↓ 1回		
						(実績) ・関西版県産品商談会を開催(6月) →関西の日本料理店シェフが県内漁 協を訪問		土佐の宴(大阪)を開催(9月) ・関西圏個別商談会(大阪)開催(9月)	・高知県産品商談会(高知)の出店事業 者を募集中 →量販店バイヤーが鮎加工品の製造 事業者を訪問予定			
						(実績) ・県産水産物オンライン試食商談会の 実施(9/6) ・参画事業者の情報収集(9/19～9/21)		・全国350店舗で高知フェアの開催 (10/1～12/31)	・全国350店舗で高知フェアの開催(1/1 ～1/31)			
						(実績) ・応援の店への営業活動(随時) ・県産水産物オンライン試食商談会の 実施(6/4)		・県産水産物オンライン試食商談会の 実施(9/18) ・参画事業者の情報収集(9/19～9/21)	・県西部方面で産地見学会(応援の店 23店舗)を実施(11/20、11/21)			
						(実績) ・5/16 首都圏の新聞・雑誌記者を招い た「天然あゆ解禁の宴2024」を開催(ま るごと高知2階レストラン「TOSA DINING おきやく」)【再掲】 ・あゆに合う土佐酒の飲み酒セットを提 供【再掲】		・大阪「とさとき」でも鮎加工品の販売を 開始【再掲】	・「とさとき」内の大型モニターで放映す るPR動画で天然鮎を紹介予定(現在、 動画製作中)【再掲】 ・県産食材を使った「季節の食卓提案」 の中で鮎を使った美味しい料理を紹介 予定(準備中)【再掲】			

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
		③消費者への販売促進や県産あゆのファンづくり		◎県版ふるさと納税での河川ごとのあゆの提供	13	県版ふるさと納税でのあゆの提供 河川(エリア)毎の流通事業者と協議し、集荷・配送体制に係る調整を実施	※水産業振興課 政策企画課 市町村 漁協	ふるさと納税であゆの取扱い体制の構築				あゆの取扱事業者件数 0件 ↓ 1件	
				◎流域市町村におけるふるさと納税返礼品への利用拡大	14	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※奈半利川淡水漁協	あゆの確保に向けた生け簀の整備 ふるさと納税への提供に向けた協議	ふるさと納税での提供の開始(北川村、奈半利町:6月から開始)			次年度に向けた、集荷体制等の検討	ふるさと納税でのあゆの出荷尾数 188尾 ↓ 60尾 ↓ 359尾
					15	ふるさと納税でのあゆ加工品の出品 道の駅と連携してアユ加工新商品の開発を行うとともに、ふるさと納税返礼品としての出品を継続	※四万十市 四万十川西部漁協	アユ加工品の開発、ふるさと納税返礼品への出品				新商品の開発件数 0件 ↓ 2件(予定) ↓ 1件	
					16	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※馬路村	出品時期・数量について協議 出品準備	あゆを返礼品として提供(漁獲状況により提供期間を決定する)			ふるさと納税寄附件数・金額 23件・22万6千円 ↓ 20件・20万円(見込) ↓ 30件・36万円	
					17	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※四万十町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄附件数(あゆ・あゆ加工品) 568件 ↓ 500件	
					18	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※仁淀川町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄附件数 117件 ↓ 100件(見込み) ↓ 140件	
				◎県内主要観光施設や道の駅、イベント等でのあゆの販売(再掲)	19	PRイベントの開催 あゆ釣り全国決勝大会及び日曜市に合わせたあゆPRイベントの開催(再掲)	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	企画提案(プロポ) 大会会場でのあゆPRイベントに向けた流域市町村との調整・あゆPRイベントの開催調整・準備	あゆ釣り全国決勝大会(8/23～8/25日)及び日曜市に合わせたイベントでのPR	PRイベントの効果調査		PRイベントの実施 1回 ↓ 1回 ↓ 2回	
								(実績) ・PRイベント開催に向けた協議	・第2回こうち天然あゆまつりを高知市中央公園にて開催(8/25) ・あゆ釣り全国大会に合わせ大会本部にてPRイベントを開催(8/24-25)	・PRイベントの課題抽出 ・来年度以降の開催を検討			

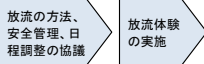
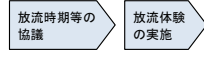
あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)		
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
				◎県内主要観光施設や道の駅、イベント等でのあゆの販売(再掲)	20	日曜市でのあゆの販売 県内各河川が連携し、高知市の日曜市に出店することで、県民及び県外観光客にあゆを安定的に供給できる体制を整備(再掲)	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐 四万十川漁業振興協議会	日曜市での販売に向けた関係者との協議・調整・実施(たびひろマーケットでの出店も検討)				日曜市でのあゆの販売 日曜市に隣接した会場での販売 ↓ 販売の実現		
					21	利き鮎会及び食味会の開催 四万十川の各地(本流、目黒川、黒尊川、藤ノ川川等)でとれる鮎を比べ、味の違いの体感や、美味しさを競い合う(再掲)	※四万十市 四万十川漁連 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	利き鮎会開催(12月)				利き鮎会及び食味会の開催 1回開催 ↓ 2回開催		
					22	各種イベント等でのあゆの塩焼きの販売 県内外の各種イベントに出店しあゆの塩焼きを販売(再掲)	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	各種イベント等での天然アユ販売				イベントへの出店回数 9回 ↓ 6回 ↓ 10回		
					23	あゆフェスの開催 西土佐地域に古くから伝わるあゆ料理や新しく考案されたあゆ料理を提供(再掲)	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	あゆフェス開催				あゆフェスの開催 第1回開催 ↓ 第2回開催 ↓ 第2回開催		
					24	漁協によるイベントへの出展 四万十川上流淡水漁協によるイベント出店(再掲)	※四万十市 四万十川上流淡水漁業協同組合	高知市中央公園等で行われる食のイベントへの出展(豊稷祭、ふるさとまつり、土佐のおきゃく等)				イベントの開催回数 3回 ↓ 3回以上		
					25	SNSやHPを活用した定期的な情報発信 村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信する。	※馬路村	あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)をInstagram、ホームページで発信				Instagramを活用したあゆに関する情報発信 7回 ↓ 2回(見込) ↓ 10回		
					26	清流めぐり利き鮎会を活用した情報発信 全国の河川のアユを集め、食べ比べによる審査を行い、その年のグランプリを選出・表彰する。オープニングであゆ王国の取組をPRする。	※高知県友約連盟 水産業振興課	エントリー先への礼状、表彰状等の発送				来場者数 260名 ↓ 280名 ↓ 200名以上		

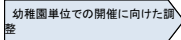
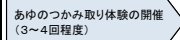
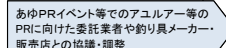
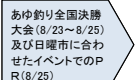
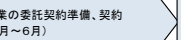
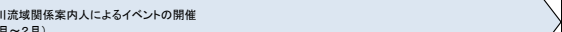
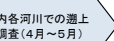
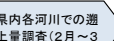
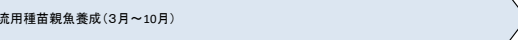
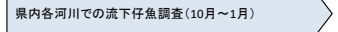
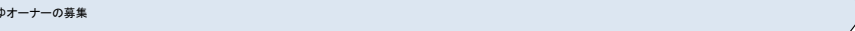
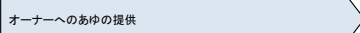
あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)				
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	親子体験教室の開催 1回 ↓ 1回 ↓ 1回以上開催				
3	高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり	体験・教育	①子どもたちが川に親しむ学習などの実施	◎学校、地域、漁協、行政の連携による漁業体験及び環境学習の実施	1	漁業体験及び環境学習の実施 ・市内小・中学校が実施する環境学習に講師(四万十川財団)を派遣し、環境学習を支援 ・市内小・中学生とその保護者を対象に、四万十川中央漁業協同組合協力のもと、あゆのつかみ取り体験等を実施	※四万十市 四万十川財団 四万十川中央漁協 四万十川西部漁協	環境学習支援事業(随時)				親子体験教室の開催 1回 ↓ 1回 ↓ 1回以上開催				
								親子川漁体験								
								〔実績〕 ・稚アユ放流体験(4/17、4/23、5/9) ・環境学習への講師派遣(随時)								
								・しゃくり漁体験(7/7) ・親子川漁体験(7/27) ・つかみ取り体験(9/5) ・投網漁体験(9/20) ・環境学習への講師派遣(随時)								
								2	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	事業の委託契約準備、契約(4月～6月)				関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 15,000回(見込み) ↓ 4,000回	
											鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(7月～2月)					
											業務報告等(3月)					
											〔実績〕 ・指名競争入札により、委託事業を選定(6/26) ・委託契約の締結(6/27)					
											〔実績〕 鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)					
											鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)(見込み)					
・鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)(見込み) ・業務報告(3月)(見込み)																
3				◎土佐山学舎の4年生を対象とした、鏡川に関する環境学習を年4回実施。	3	環境学習の実施 ・土佐山学舎の4年生を対象とした、鏡川に関する環境学習を年4回実施。	※高知市 土佐山学舎				環境学習の実施(時期未定)					環境学習の実施 4年生を対象に4回実施 ↓ 1回(見込み) ↓ 4年生を対象に4回実施
								〔実績〕								
								環境学習の実施(9月10日)								
4				◇協働の川づくり事業による中学生の地域学習への川漁や環境学習の導入(四万十川財団)	4	地域学習への川漁や環境学習の導入 協働の川づくり事業による中学生の地域学習への川漁や環境学習の導入(四万十川財団)	※四万十町 四万十川財団 地域住民	水生生物調査や環境学習を通じた川との関わりへの協力				環境学習の実施 要望のある全ての学校で実施 ↓ 要望のある全ての学校で実施				
								四万十川支流での通年での水生生物の生息状況調査								
								〔実績〕 6/17 田野々小								
								7/3 影野小 7/3 十川小 7/10 窪川小 9/6 北ノ川小								

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	実施校数 10校 ↓ 14校(見込) ↓ 10校以上
				◎学校、地域、漁協、行政の連携による進業体験及び環境学習の実施	5	環境学習会の実施 学校と連携し、環境学習会を実施(物部川、仁淀川、四万十川流域)	※自然共生課 羽根小学校 香長小学校 舟入小学校 香北中学校 楠目小学校 長岡小学校 大窪小学校 池川小学校 池川中学校 越知小学校 越知中学校 尾川小学校 とさ自由学校 中村高校西土佐分校 衛生環境研究所(公財)四万十川財団 流域団体等	 (予定) ・池川小学校 ・越知小学校 ・とさ自由学校 (実績) ・池川小学校(5/15、5/24) ・とさ自由学校(6/10)	(予定) ・舟入小学校 ・池川中学校 ・楠目小学校 ・中村高校西土佐分校 ・とさ自由学校 ・香長小学校(7/8) ・池川中学校(7/8) ・舟入小学校(7/12) ・越知小学校(7/16) ・羽根小学校(7/17) ・とさ自由学校(7/26) ・尾川小学校(9/6) ・中村高校西土佐分校(9/13)	(予定) ・楠目小学校 ・舟入小学校 ・香北中学校 ・長岡小学校 ・大窪小学校 ・とさ自由学校 ・越知中学校(10/2) ・香北中学校(10/15) ・楠目小学校 ・長岡小学校 ・大窪小学校 ・とさ自由学校	(予定) ・舟入小学校	
					6	地域学習へのあゆ釣り体験や種苗の放流体験の導入 あゆの友釣りや種苗放流等を通じた地域学習	※仁淀川町 仁淀川漁協 仁淀川の“緑と清流”を再生する会 仁淀川アウトドアセンター	 (実績) ・5月21日実施	池川中学校の生徒によるあゆの友釣りとSUP体験(7月) ・7月13日実施			46名参加 ↓ 50名参加(実績値) ↓ 57名参加
				◎あゆ人工種苗放流体験の実施	7	あゆ種苗放流体験の実施 あゆ種苗放流の一部を村内保育所の児童による放流体験とする。	※馬路村 村内保育所 安田川漁協	 (実績) ・関係団体と放流体験日程の調整 ・安田川漁協の指導のもと、馬路保育所園児あゆ放流体験を実施(6/14)				体験回数 1回 ↓ 1回 ↓ 1回
					8	あゆ放流体験の実施 あゆ放流の一部を村内小学校の児童による放流体験として実施。	※三原村 三原村商工会 三原小学校	 (実績) ・放流時期、実施場所、放流量、体験対象者の協議(4月) ・村内河川5か所、小学校2・3年生を対象に稚鮎39kgの放流の実施(5月23日)				体験回数 1回 ↓ 1回 ↓ 1回
					9	地域学習へのあゆ釣り体験や種苗の放流体験の導入 あゆの友釣りや種苗放流等を通じた地域学習(再掲)	※仁淀川町 仁淀川漁協 仁淀川の“緑と清流”を再生する会 仁淀川アウトドアセンター	 (実績) ・5月21日実施	池川中学校の生徒によるあゆの友釣りとSUP体験(7月) ・7月13日実施			46名参加 ↓ 50名参加(実績値) ↓ 57名参加

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
				◇地域の伝統漁具の作成や修理体験による文化の継承	10	あゆのつかみ取りの実施 幼稚園児等を対象としたあゆのつかみ取りの実施(再掲)	※奈半利川淡水漁協					参加児童数 3回242名 ↓ 3回168名 ↓ 3回240名	
					11	釣り道具の継承 釣り文化や釣り道具の継承に向けた検討(再掲)	※協議会 水産業振興課					イベント等での釣り具のPR 1回 ↓ 1回 ↓ 2回	
		②大人の学習・体験機会の創出		◎漁協や企業と連携した漁業体験、産卵場造成体験、産卵見学会、遡上観察会等の実施とあゆオーナー制度の導入	12	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市					関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 15,000回(見込み) ↓ 4,000回	
					13	資源調査・種苗生産用の親魚養成の実施 各河川の流下期及び遡上期の資源状況調査を行い、県内各漁協と情報共有・発信を行う。また、遺伝的多様性の高い県産人工種苗「土佐のあゆ」を生産・放流するための親魚候補の確保と育成を行う。	※内水面漁業センター 漁協 水産業振興課					各調査及び親魚養成の実施 毎年実施 ↓ 毎年実施 ↓ 毎年実施	
													
													
								(実績) 遡上量調査 ・5月まで実施。調査結果を各漁協に情報提供(5/27) 親魚養成 ・県内河川にて養成用のアユを採集(4/2、4/5、4/11、4/18)	(実績) 親魚養成 ・飼育魚のサンプリングによる生育状況確認(8/16、9/12) ・内漁連との情報共有会(9/18)	親魚養成(見込) ・採卵作業(10月中旬) 流下調査 ・10月下旬開始	遡上量調査(見込) ・2月開始 親魚養成 ・養成用アユの採集(3月)		
					14	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁協によるあゆオーナー制度の実施	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合						オーナー制度参加者数 12人 ↓ 12人 ↓ 20人
													
								(実績) あゆオーナー制度参加者 R6 12名					

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
				◇あゆや河川資源を題材とした文化教育イベント(俳句・絵画・写真・書道展・環境学習展)の開催	15	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	事業の委託契約準備、契約				関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 15,000回(見込み) ↓ 4,000回
								事業の委託契約準備、契約	鏡川流域関係案内人によるイベントの開催		業務報告等	
								〔実績〕 ・指名競争入札により、委託事業を選定(6/26) ・委託契約の締結(6/27)	鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)	鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)(見込み)	・鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)(見込み) ・業務報告(3月)(見込み)	

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)		
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
4	高知のあゆを持 続的に活用する ための仕組みづ くり	資源回復・ 保全	①あゆ資源の持続的活 用に向けた資源回復・ 保全策の実施	◎流域全体の総意に基づき資 源回復策の実施に向けた関係 者間の協議	1	基礎調査の実施と関係者による協議 資源回復のための基礎調査の実施 と情報共有、漁業振興協議会での 流域内漁協と行政での意見交換	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組 合 四万十川上流淡水漁業協 同組合		中期的な資源調査の実施と、調査結果に基づく回復策についての提案・協議の場の設定			協議会の開催 1回 ↓ 1回 ↓ 1回		
					2	官民一体となって河川資源回復の 取り組みを実施 四万十川漁業振興協議会が中心と なり、行政、学識経験者等の協力を 得て、河川環境改善、資源回復に向 けて取り組む	※四万十市 四万十川漁業振興協議会		河川環境改善・資源回復に向けた取り組みの検討			取り組みの検討 要望書提出・取り組みの 検討 ↓ 取り組みの方向性の決 定(予定) ↓ 取り組みの方向性の決 定		
				◎漁協が行う資源保全活動 (カワウ等の駆除、産卵場造 成、資源調査)の継続と情報発 信	3	ドローンを活用したカワウ対策の実 証試験の実施 カワウ対策の実証試験の実施	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組 合 四万十川上流淡水漁業協 同組合	カワウ追払いの実施				カワウ駆除数 38羽 ↓ 1 ↓ 50羽以上 (四万十町管内分)		
					4	産卵場整備 環境・生態系保全対策事業費交付 金を「鏡川環境保全の会」に交付 し、産卵場整備の実施状況等の確 認を行う。	※高知市 高知県 鏡川漁業協同組合	計画承認 (4月)	交付決定 (5月)	体験学習会 (実施状況 確認) (9月)	堆積土砂整備、河床 の搅拌による瀬と淵の 効果の検証(実施状況 確認)(10月)	実績報告等 (2月～3月)	整備面積 2941㎡ ↓ 面積想定不可 2,941㎡(現状維持)	
					5	「水」にあゆの美味しさに着目した情 報発信 水(川の綺麗さや地形等)があゆの 美味しさに与える影響について、漁 協や専門家等に関き取りを行い、整 理・発信	※協議会(資源・環境保全 部会)	漁協や専門家等に対して情報収集を行い、水とあゆの関連性を整理					(今後検討)	
								清流めぐり利き鮎会でグラブリを受賞した県外河川等の情報を収集						
								作業部会において、水があゆに与える影響について議論						
				◎漁協や企業と連携した漁業 体験、産卵場造成体験、産卵 見学会、遡上観察会等の実施 とあゆオーナー制度の導入(再 掲)	6	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務 において、鏡川流域関係案内人が 開催する鏡川流域の自然を生かし たイベント等の支援を行うととも に、鏡川流域に関わる人たちのコミュ ニティを構築する。学校、地域、漁協、 行政と連携してイベント等を実施す ることで、あゆの河川資源等に親し む機会を創出する。(再掲)	※高知市	事業の委託契約準備、契約 (4月～6月)			鏡川流域関係案内人によるイベントの開催 (7月～2月)		業務報告等 (3月)	関係人口(鏡川流域の 自然資本を含む地域資 源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 15,000回(見込み) ↓ 4,000回
								(実績) ・指名競争入札により、委託事業を選定 (6/26) ・委託契約の締結(6/27)		鏡川流域関係案内人によるイベントの開 催(随時)	鏡川流域関係案内人によるイベントの開 催(随時)(見込み)	・鏡川流域関係案内人によるイベントの開 催(随時)(見込み) ・業務報告(3月)(見込み)		

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
高知のあゆを持 続的に活用する ための仕組みづ くり	資源回復・ 保全	①あゆ資源の持続的活 用に向けた資源回復・ 保全策の実施	◎漁協や企業と連携した漁業 体験、産卵場造成体験、産卵 見学会、遡上観察会等の実施 とあゆオーナー制度の導入(再 掲)	遡上調査・種苗生産用の親魚養成 の実施 各河川の流下期及び遡上期の資源 状況調査を行い、県内各漁協と情報 共有・発信を行う。また、遺伝的多様 性の高い県産人工種苗「土佐のあ ゆ」を生産・放流するための親魚候 補の確保と育成を行う(再掲)	7	※内水面漁業センター 漁協 水産業振興課					 	各調査及び親魚養成 の実施 毎年実施 ↓ 毎年実施 ↓ 毎年実施			
							〔実績〕 遡上量調査 ・5月まで実施。調査結果を各漁協に情 報提供(5/27) 親魚養成 ・県内河川にて養成用のアユを採集 (4/2、4/5、4/11、4/18)						親魚養成 ・飼育魚のサンプリングによる生育状況 確認(8/16、9/12) ・内漁連との情報共有会(9/18)	親魚養成(見込) ・採卵作業(10月中旬) 流下調査 ・10月下旬開始	遡上量調査(見込) ・2月開始 親魚養成 ・養成用アユの採集(3月)
							〔実績〕 遡上量調査 ・5月まで実施。調査結果を各漁協に情 報提供(5/27) 親魚養成 ・県内河川にて養成用のアユを採集 (4/2、4/5、4/11、4/18)						親魚養成 ・飼育魚のサンプリングによる生育状況 確認(8/16、9/12) ・内漁連との情報共有会(9/18)	親魚養成(見込) ・採卵作業(10月中旬) 流下調査 ・10月下旬開始	遡上量調査(見込) ・2月開始 親魚養成 ・養成用アユの採集(3月)
					8	※四万十町 四万十川上流淡水漁協によるあゆ オーナー制度の実施(再掲)	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協 同組合					オーナー制度参加者数 12人 12名 20人			
								〔実績〕 あゆオーナー制度参加者 R6 12名							
					9	◎あゆ人工種苗生産事業の安 定的な継続に向けた関係団体 (漁協、市町村、県等)による支 援	あゆ人工種苗放流の継続に向けた 関係団体との協議 あゆ人工種苗放流量の増加に向け て関係団体との協議を実施	※水産業振興課 内水面漁業協同組合連合 会 漁協 市町村					市町村等によるあゆ種 苗放流量 33.6トン ↓ 32.4トン ↓ 34.0トン		
									〔実績〕 ・種苗生産に係るミーティングへの出席 (毎週月曜日) ・種苗生産定例会への出席(6/24)					・種苗生産定例会への出席(9/18) ・契約更新に向けた関係者協議(9/18)	・種苗生産に係るミーティングへの出席 (毎週月曜日)
					10	◇河川ごとの課題の整理に向け た調査研究の実施とそれに 基づく資源回復アクションプラ ンの策定	あゆ資源回復に向けた検討 鏡川清流保全環境調査委託業務に より、鏡川におけるあゆの遡上状況 及び産卵場の調査を行い、あゆ資 源回復に向けた対策を検討する。	※高知市 鏡川漁業協同組合						天然あゆ遡上数 19.2万尾 2.5万尾(確定) 50万尾	
		〔実績〕 ・アユ産卵場調査の実施(11月)(見込 み) ・中間報告(12月)(見込み)													
〔実績〕 ・入れにより委託業者を決定(4/25) ・委託契約の締結(4/26) ・アユ遡上調査の実施(5/21・22)		〔実績〕 ・アユ産卵場調査の実施(11月)(見込 み) ・中間報告(12月)(見込み)													
11	◎漁協が行う資源保全活動 (カワウ等の駆除、産卵場造 成、資源調査)の継続と情報発 信	産卵場整備 地域の漁協、行政、学校、住民等が 協力しながら四万十川の産卵床整 備を実施(※これまで整備が必要 な年には実施している)	※四万十市 四万十川中央漁協					整備箇所 1箇所以上 1箇所以上 ↓ 1箇所以上							
				〔実績〕 ・産卵床整備(11/1)											

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱5 高知のあゆを情報発信する仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
5	高知のあゆを情報発信する仕組みづくり	情報発信	① SNSやホームページを活用した情報発信	◎「あゆ王国高知」ホームページやSNSを活用した情報発信	1	県産あゆに関する情報発信 漁、食、観光、イベント開催、生態や資源保全、環境学習に関する取組、文化的価値等をSNSで情報発信	※水産業振興課	県産あゆに関する情報収集 あゆ解禁情報・漁獲様の情報発信 あゆイベント情報の発信 あゆ食に関する情報発信 あゆ生態等の情報発信 あゆ選上状況の情報発信 収集した県産あゆに関する情報発信 (実績) ・県SNSでの情報発信 ・県SNSでの情報発信 ・県SNSでの情報発信 ・県SNSでの情報発信				発信情報数 30回 ↓ 30回 ↓ 30回
				◎関係市町村や漁協、県内事業者等と連携した、効果的な情報発信	2	漁協及び関係市町で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協HPでのあゆ情報発信及び漁業振興協議会を活用した各調査結果等の情報発信(再掲)	※四万十市 ※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合	四万十川東部漁協ホームページで一般釣り客への情報を公開 (実績) ・東部漁協におけるホームページへの情報公開 ・高知県四万十川流域保全振興委員会第1回河川環境部会(7/30) ・四万十川のアユの疾病に関する報告会(3月)(見込み)				報告会・ホームページ情報発信の実施 ↓ 報告会・ホームページ情報発信の実施 ↓ 報告会・ホームページ情報発信の実施
				◎「あゆに関する情報発信 ホームページやリーフレット等を作成し、県内外にあゆに関する情報発信を行う	3	あゆに関する情報発信	※四万十市 西土佐商工会 四万十川西部漁協 株式会社西土佐ふるさと市 西土佐地域産業振興推進協議会	ホームページ・リーフレット・のぼり旗等を活用したPR活動 BBQ食材としてのあゆのPR活動、学校給食を通じたあゆのPR活動 あゆを提供している飲食店の情報収集、あゆの食べ方や食文化の調査 (実績) ・BBQ食材としてのあゆのPR活動、学校給食を通じたあゆのPR活動 ・地域住民を対象とした貼漁に対する意識調査 ・将来の担い手となる子どもたちを対象とした漁業体験学習 ・加工品の商品化(貼の佃煮) ・BBQ食材としてのあゆのPR活動、学校給食を通じたあゆのPR活動 ・地域住民を対象とした貼漁に対する意識調査 ・将来の担い手となる子どもたちを対象とした漁業体験学習 ・加工品の商品化(貼の佃煮) ・BBQ食材としてのあゆのPR活動、学校給食を通じたあゆのPR活動 ・地域住民を対象とした貼漁に対する意識調査 ・将来の担い手となる子どもたちを対象とした漁業体験学習 ・加工品の商品化(貼の佃煮) ・BBQ食材としてのあゆのPR活動、学校給食を通じたあゆのPR活動 ・地域住民を対象とした貼漁に対する意識調査 ・将来の担い手となる子どもたちを対象とした漁業体験学習 ・加工品の商品化(貼の佃煮)				PR活動 ホームページ等作成 ↓ ホームページ等を活用したPR活動 ↓ ホームページ等を活用したPR活動
				◎「高知家の魚応援の店」や「まるごと高知」等と連携した情報発信	4	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集 フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定 高知フェア(全国350店舗)の開催(9～2月) (実績) ・フェア参加店舗の募集開始(6/6) ・参画事業者の情報収集(9/19～9/21) ・全国350店舗で高知フェアの開催(10/1～12/31) ・全国350店舗で高知フェアの開催(1/1～1/31)				フェアであゆを提供する飲食店舗 1店舗 ↓ 1店舗 ↓ 3店舗
				◎「あゆ王国高知」ロゴマークを活用したPR	5	イベントでの「あゆ王国高知」ロゴマークを活用したPR 各種イベントでロゴマークを用いたノベルティ配布やあゆ王国の動画上映によりあゆ王国高知振興ビジョン及び県産天然あゆのPRを実施	※水産業振興課	関東・関西メディア向けPRイベントでの動画放映(5/16) あゆ釣り全国決勝大会でのノベルティの配布(8/23～25) あゆ王国高知ロゴマークの利用申請受付 (実績) ・関東・関西メディア向けPRイベントでの動画放映(5/16) ・第36回ダイワ船マスターズ2024全国決勝大会でのステッカーの配布(8/23～25) ・第2回こうち天然あゆまつりでのステッカーの配布(8/25) ・どっぶり高知旅フェスティバルでの動画放映(9/7～8) ・第25回清流めぐり利きあゆ会での動画放映(9/20)				ロゴマークの活用回数 ー ↓ 5回 ↓ 5回
				◎あゆの美味しさと水や環境に関する情報発信	6	「水」とあゆの美味しさに着目した情報発信 水(川の綺麗さや地形等)があゆの美味しさに与える影響について、漁協や専門家等に関き取りを行い、整理・発信(再掲)	※協議会(資源・環境保全部会)	漁協や専門家等に対して情報収集を行い、水とあゆの関連性を整理 清流めぐり利き貼会でグランプリを受賞した県外河川等の情報を収集 作業部会において、水があゆに与える影響について議論 (実績) ・水とあゆの食味に関する情報について関係機関に関き取り調査を実施 ・水とあゆの食味に関する情報について関係機関に関き取り調査を実施 ・資源環境保全部会にて意見交換				(今後検討)

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱5 高知のあゆを情報発信する仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
				◎県の観光キャンペーンと連携したあゆを活用した自然・体験型観光商品や飲食店情報の発信(再掲)	7	あゆを含む高知の食のPR ・あゆを含む高知の食のPRによる誘客 ・マスコミや旅行会社に向けてあゆを含む高知の食をPR(再掲)	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会					観光説明会・メディア情報交換会でのPR 19件 ↓ 33件(想定) ↓ 30件 ※令和4年度夏からの累計
				◎観光コンベンション協会等の団体やあゆに関わりの深い著名人と連携したSNSによる情報発信	8	県産あゆの効果的な情報発信 あゆが食べられる飲食店等の情報収集・発信やインフルエンサーと連携したSNSでの県産あゆの情報発信等を実施	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会					SNS・HPでの記事・動画閲覧数 約38万件 ↓ 約20万件(10/20時点) ↓ 70万件以上
				◎観光コンベンション協会等の団体やまるごと高知と連携したイベントによる情報発信	9	観光客向けの情報発信 あゆ漁体験などを含む旅行商品や体験プログラムの情報を発信(再掲)	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会					柱1のNo.2、3、6の目標と同じ
					10	あゆを含む高知の食のPR ・あゆを含む高知の食のPRによる誘客 ・マスコミや旅行会社に向けてあゆを含む高知の食をPR(再掲)	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会					観光説明会・メディア情報交換会でのPR 19件 ↓ 33件(想定) ↓ 30件 ※令和4年度夏からの累計
				◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催(再掲)	11	SNSやHPを活用した定期的な情報発信 村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信(再掲)	※馬路村					Instagramを活用したあゆに関する情報発信 7回 ↓ 2回 ↓ 10回

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱5 高知のあゆを情報発信する仕組みづくり)

注 No	ビジョンの柱	取り組み 項目	取り組み 方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和6年度				現状値(R5) ↓ 実績値(R7.3末時点) ↓ 到達目標(R6)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
5				◇関係機関と漁協が連携した各河川のおゆに関する情報発信(再掲)	12	清流めぐり利き貼会を活用した情報発信 全国の河川のおゆを集め、食べ比べによる審査を行い、その年のグランプリを選出・表彰する。 オープニングであゆ王国の取組をPRする。(再掲)	※高知県友釣連盟 水産業振興課	エントリー河川の募集・参加調整 (4、5月) 開催要項の発送 (6月) 一般募集案内 (7月) 一般募集開始 (8月) ・9月開催 ・あゆ王国高知をPR エントリー先への礼状、表彰状等の発送				来場者数 260名 ↓ 280名 ↓ 200名以上
						(実績)	・第25回清流めぐり利きあゆ会を開催(9/20) ・利きあゆ会にてあゆ王国高知のPR動画を放映					
					13	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係案内人が開催する鏡川流域の自然を生かしたイベント等の支援を行うとともに、鏡川流域に関わる人たちのコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携してイベント等を実施することで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	事業の委託契約準備、契約 (4月～6月) 鏡川流域関係案内人によるイベントの開催 (7月～2月) 業務報告等 (3月)				関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 3,347回 ↓ 15,000回(見込み) ↓ 4,000回
						(実績) ・指名競争入札により、委託事業を選定(6/26) ・委託契約の締結(6/27)	鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)	鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)(見込み)	鏡川流域関係案内人によるイベントの開催(随時)(見込み) ・業務報告(3月)(見込み)			
					14	電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わりの促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。 ※高知市は「まちのコイン」の運営団体(再掲)	※高知市	コインの配布、回収、スポット申請の承認、スポット及びユーザーの開拓等(通年)				業務報告等 (3月)
15	漁協及び関係市町で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協HPでのあゆ情報発信及び漁業振興協議会を活用した各調査結果等の情報発信(再掲)	※四万十市 ※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合	(実績) ・随意契約により、委託契約の締結(4/1)	・電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちり」)のスポットである鏡川漁協が、漁協主催のイベントにおいて体験チケットの作成・発行等を行い、取組のPRや関係人口創出に活用している。(随時)	・電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちり」)のスポットである鏡川漁協が、漁協主催のイベントにおいて体験チケットの作成・発行等を行い、取組のPRや関係人口創出に活用している。(随時)(見込み)	・電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちり」)のスポットである鏡川漁協が、漁協主催のイベントにおいて体験チケットの作成・発行等を行い、取組のPRや関係人口創出に活用している。(随時)(見込み)	・電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ほっちり」)のスポットである鏡川漁協が、漁協主催のイベントにおいて体験チケットの作成・発行等を行い、取組のPRや関係人口創出に活用している。(随時)(見込み)	あゆ関係調査の結果報告会(高知大学)	報告会・ホームページ情報発信の実施 ↓ 報告会・ホームページ情報発信の実施 ↓ 報告会・ホームページ情報発信の実施			
			四万十川東部漁協ホームページで一般釣り客への情報を公開									
			(実績) ・東部漁協におけるホームページへの情報公開	・高知県四万十川流域保全振興委員会第1回河川環境部会(7/30)			・四万十川のおゆの疾病に関する報告会(3月)(見込み)					

第 2 期 あゆ王国高知振興ビジョンにおける目標設定

○全体スローガン

「あゆの香りあふれる自然と暮らし あゆ王国高知」

○柱ごとの目標値

柱番号	柱内容	項目	取組み方針	指標	出発点	現状値	R 9 年目標値 各指標値を 120%以上へ (4 年後)
柱 1	高知のあゆに触 れられる機会づ くり	観光	①あゆを活用した旅行商品 提供のための仕組みづくり ②旅行商品づくりのための 環境整備 ③観光キャンペーンへのあ ゆの活用	あゆ取扱い施設に おける あゆ関連商品の 飲食・購入者数	2.2万人 (R 4 年度)	3.8万人 (R 5 年度)	2.6万人
		食	①県内の飲食店等であゆを 食べてもらう機会づくり ②県外の飲食店等で高知の あゆを食べてもらう機会づ くり ③調理方法や食べ方の提案 によるあゆの利用促進				
		釣り	①子どもたちがあゆに親し む機会づくり ②遊漁者の増加に向けた仕 組みづくり	県内遊漁券 販売数	11,919件 (R 4 年)	11,919件 (R 4 年) ※R5集計中	14,300件
柱 2	高知のあゆで外 貨を稼ぐ仕組み づくり	加工・流 通販売	①県内各河川のあゆを一元的、安定的に供給するための流通体制の構築 ②あゆの販路開拓・拡大のための取組の実施 ③消費者への販売促進や県産あゆのファンづくり	県内主要集出荷 施設における あゆ取扱量	22.0t (R 3 年)	21.6 (R 4 年)	26.4t
柱 3	高知の川遊びの 文化を維持する 仕組みづくり	体験・教 育	①子どもたちが川に親しむ 学習などの実施 ②大人の学習・体験機会の 創出	環境学習等 参加者数	1,501人 (R 4 年度)	1,677人 (R 5 年度)	1,800人
柱 4	高知のあゆを持 続的に活用する ための仕組みづ くり	資源回 復・保全	①あゆ資源の持続的活用に向けた資源回復・保全策の実施	産卵場造成等の 資源保全参加者数	333人 (R 4 年度)	265人 (R 5 年度)	400人
柱 5	高知のあゆを情 報発信する仕組 みづくり	情報発信	①SNSやホームページを活用した情報発信	あゆ王国HPの 閲覧数	2.9万回 (R 5 年度 見込み)	2.8万回 (R 5 年度)	4.4万回
あゆ王国高知振興ビジョン全体の取り組み数					76件 (R5年度)	82件 (R 6 年度)	90件

県産天然あゆの認知度向上や消費拡大に繋げるため、効果的な情報発信の方法等について検討

開催概要

- 開催日 ①令和6年10月9日（水）
- 出席者 黒笹会長、内山理事長（高知県友釣連盟）、八田記者（高知新聞）
山脇組合長（四万十川上流淡水漁協）、岡上副店長（つりぐの岡林）
県（地産地消・外商課、観光政策課、水産業振興課）
- 内 容 今年度実施した情報発信の取組について報告、意見交換

報告内容・意見

- ① 関東・関西におけるメディア向けPRイベントの開催
関東「TOSA DININGおきゃく」、関西「トッサ・ジ・クラッサン」で県産天然あゆのPRイベントを同時開催（5/16）＊解禁翌日。メディア等が18社参加し、各種媒体にて記事を投稿
- ② 第2回こうち天然あゆまつりの開催
県民や県外からの観光客に県産天然あゆに親しんでもらうため、第2回こうち天然あゆ祭りを開催（8/25）。約4,500人が来場し、約1,500尾のあゆが終了時間を前倒して完売
⇒あゆ掴み取りにおけるあゆの在庫不足や、塩焼き商品の行列対策等が課題。
今後のイベント拡充に向けて、あゆの確保やオペレーションの見直し等を検討
- ③ 第36回ダイワ鮎マスターズ2024全国決勝大会でのPR
第36回ダイワ鮎マスターズ2024全国決勝大会の開催に合わせて県や仁淀川流域市町村のPR及び流域市町村の事業者による物販を実施（8/24～25）。323名が来場
⇒メディアへの露出が少なかったことから、効果的な情報発信を検討
- ④ インフルエンサー・県SNSを活用したPR
インフルエンサー 2名が県産天然あゆに関する記事を投稿。川村文乃さん（Instagram 8/22、YouTube8/23） FuchiBite Mari Fuchigamiさん（InstagramYouTube8/20）
- ⑤ その他の取組み
清流めぐり利き鮎会（9/20）、どっぶり高知旅フェスティバル（9/7～8）、令和6年度（第63回）農林水産祭「実りのフェスティバル」（11/1～2予定）で、あゆ王国高知のPVの放映や来場者へのパンフレット配布を実施
⇒利きあゆ会を活用した情報発信を検討
- ⑥ ローカルな食文化と魚に出逢う第2弾！「どっぶり高知旅」の開催（黒笹会長報告）
魚を釣るところから調理、食べるまでを一貫して体験できる体験会を実施（9/21～23）。参加者3名があゆの友釣り、塩焼きを体験。参加者からは体験観光について非常に高い評価。

① 関東・関西におけるメディア向けPRイベントの開催



② 第2回こうち天然あゆまつりの開催



③ 第36回ダイワ鮎マスターズ2024全国決勝大会でのPR



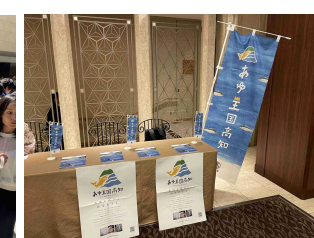
④ インフルエンサー・県SNSを活用したPR



⑤ その他の取組み



・どっぶり高知旅フェスティバルでのPR



・第25回全国清流めぐり利き鮎会でのPR



県産天然あゆの消費拡大や付加価値の向上を図るため、安定的な販売と魅力的な商品づくりに重要となるあゆの集出荷や凍結方法を検討

開催概要

- 開催日 ①令和6年10月1日（火） ○ 出席者 黒笹会長、金谷組合長（四万十川西部漁協）
西内委員、県（地産地消・外商課、水産業振興課）

取組実績

1. 内水面漁協へのあゆ集出荷の聞き取り結果について

- ・あゆの集出荷について内水面漁協にヒアリングを実施。ヒアリング内容を部会で共有。
 - ・県東部では、奈半利町より東の地域にはあゆの集出荷事業者がない現状
- ⇒県東部の流通販売事業者を訪問し、意向を確認。当該事業者はあゆの販売に意欲的であることから、今後、漁協や市町村とも相談しながら、集出荷体制について調整

2. 凍結方法の違いによるあゆの食味試験について

(1) 実施目的

集出荷体制の構築を進める中で冷凍あゆの有効性が示されたことから、冷凍あゆ商品の品質向上を目的とした天然あゆの凍結方法の比較試験を実施

(2) 実施日

- 令和6年8月27日（火） 8:30～14:30 凍結試験実施
令和6年10月1日（火） 14:00～16:00 食味試験

(3) 結果

- ・急速凍結（ブライン凍結とプロトン凍結）は他の凍結方法と比較すると高評価

表. 凍結方法ごとの各項目に対する平均得点（n=8）

凍結方法	身の味	はらわたの味	風味	総合
①緩慢凍結	3.9	3.4	3.5	3.6
②エアブラスト凍結	3.4	3.5	3.6	3.3
③ブライン凍結	4.4	4.1	4.3	4.5
④プロトン凍結	4.5	4.6	4.4	4.6

(4) 今後の方向性

- ・民間事業者と連携し漁協が中心となった集出荷体制の構築、組合員等の理解醸成
- ・冷凍あゆ商品の品質向上



- ・奈半利川淡水漁協から活あゆを20尾購入し水氷にて氷締め。
- ・あゆの重量及び尾叉長（頭の先から尾鰭の付け根まで）を測定
- ・重量は平均91.4 g
- ・尾叉長は平均19.1cm



- ・氷締めしたあゆを5尾ずつ4袋に分けて真空処理を実施
- ・1袋（5尾）ずつ4種類の凍結を実施
- ①緩慢凍結 ②エアブラスト凍結
- ③ブライン凍結 ④プロトン凍結
- ・-20℃の保管庫にて、4種類の方法で凍結したあゆを36日間保管



- ・流水で解凍した①～④のあゆを塩焼きに調理
- ・流通販売部会に出席した8名にて①～④のあゆをブラインドで試食し、身の味、はらわたの味、風味、総合の項目について5点満点で評価

あゆを観光や地域振興に有効かつ持続的に活用していくためには、あゆ資源を活用と保全の両輪で取組を進めていくことが重要であるため、あゆの保全等について検討

開催概要

○開催日：令和6年10月23日（水）
○出席者：黒笹会長、坪井委員、松浦組合長（物部川漁協）、有川代表（近自然河川研究所） 県（自然共生課、内水面漁業センター、水産業振興課）

協議概要

①魚道改修やカワウ対策の取組事例について

- 鳥取県のあゆ不漁対策の取組について調査し情報提供
- 魚道改修やカワウ対策については県において現在対応中

【意見】

- 魚道改修の成果や魚道の重要性などを情報発信し、多くの県民や関係者に関心を持ってもらう必要がある
- 複数河川が連携してカワウ対策をモデル化することは重要と考えるが、次のステップを事前に考えておく必要がある

県内の魚道改修の成果やカワウ対策のモデル的な実施等をSNSや新聞で発信することで、県民や関係者の理解を醸成

②あゆの食味と河川環境の関わりについて

- 利き鮎会入賞河川（R3まで）を点数化しランキング化すると、上位3河川は岐阜県和良川、兵庫県揖保川、高知県安田川
- ※引用：「完全攻略！鮎Fanatic」（坪井潤一・高橋勇夫・高木優也、2023年出版）
- 和良川漁協によると、あゆが美味しい理由は石灰岩帯の地層から出るミネラルを含んだ水によるものとのこと

【意見】

- 揖保川でも石灰岩帯の地質があゆの美味しさに影響していると言われている
- 大雨等の近年の環境変化により、河川によってあゆの美味しい時期に差が生じていることから、河川ごとの旬を情報発信するべき

あゆの美味しさや旬など、高知のあゆについての多様な情報をSNS等で発信

③県内のアユイング取組状況について

【内水面漁協への聞き取り結果】

- 県内外からの遊漁者の集客及び遊漁券販売数の純増につながる
- 友釣りや釣りが異なるため、トラブルも発生していない
- カワウ対策にも貢献
- 他の河川で遊漁者の増加等の優良事例があった場合には、推奨したい
- 芸陽漁協ではアユイングの先進地視察を実施、物部川では県内釣具店によるアユイング講習会が実施されるなど、アユイング振興に積極的

遊漁規則上は禁止していないが、友釣りとのトラブルが予想される

切れた仕掛けが河川に残留し、友釣りの仕掛けが切られる恐れがある

【意見】

- 物部川ではアユイングと友釣りによる遊漁者間のトラブルは起こっていない
- アユイングは、例えば、ブラックバス用の竿やリールでも実施可能なため、学生等の若者も楽しみやすい
- 物部川ではアユイングを楽しむ近隣の若者が増えていることから、まずは地元の若者の参入を促すことが効果的
- アユイング振興により遊漁者が増えることでカワウ対策にも貢献
- アユイングを楽しめる河川について、HPでの情報発信やSNSでの拡散を行い、遊漁券の販売の増加につなげることで実施河川の拡大を図る

アユイング体験会の開催、アユイングが楽しめる河川の情報提供

